



## 栃木県消防救助技術大会

6月19日、第49回栃木県消防救助技術大会が栃木県消防学校で開催され、県内の消防局・消防本部から278名の消防隊員が出場しました。

石橋地区消防組合から署内選考された23名の隊員が「ロープブリッジ渡過」、「はしご登はん」、「ロープ応用登はん」、「引揚救助」、「ロープブリッジ救出」、「ほふく救出」の計6種目に出場しました。

「ロープブリッジ救出」で、奥山統太・山口宇大・川田和希・野中章吾隊員が優勝し、7月18日に千葉県消防学校で開催された第52回消防救助技術関東地区指導会に栃木県代表として出場しました。

また、栗田悠平隊員が「ロープブリッジ渡過」、赤塚将平・鶴見拓樹隊員が「ロープ応用登はん」、で見事優勝し、8月23日(金)に千葉県消防学校で開催される、第52回全国消防救助技術大会にそれぞれ栃木県代表として出場します。



しもつけフイズ

問3

① 1年  
② 2年  
③ 3年

自主的に運転免許証を返納した方が、デマンド交通利用券等の支援を申請できるのは、返納後何年以内？

## わくわく子ども食堂を開催

下野ふれあい会(えごのき塾)

6月8日、西区公民館で「わくわく子ども食堂」が開催されました。この取組は、えごのき塾代表 佐藤善行氏が中心となり、市民活動補助事業を活用して地域の子どもと大人が交流を図る居場所づくりを目的としています。当日は、地元農家から提供された食材を活用した豚のしょうが焼きや玉ねぎ入り味噌汁などを美味しくいただきました。参加した子ども達はカードゲームやおしゃべりなどをして楽しく交流しました。

佐藤代表は、子どもだけでなく高齢の方など世代を超えてつながる場にしたいとの思いで、支援いただける方も含めて多くの方の参加を希望されていました。ぜひ一度参加してみたいはいかがでしょうか。



わくわく  
子ども食堂  
Instagram

## 地域食堂「こもれび」を開催

共生社会の実現を目指して

7月7日、コミュニティセンター友愛館で地域食堂「こもれび」を開催しました。お昼は地元農家から提供された食材などを活用したカレーライスをいただきました。また、七夕飾りを作るなど参加者同士の交流を図りました。

今回は初めての取組となり、東方台地コミュニティ推進協議会、NPO法人青二才などの協力をいただき開催しました。今後も地域の皆さまとの協働により、市内コミュニティセンターなどを活用しながら開催していく予定です。



## 社会を明るくする運動

内閣総理大臣メッセージ伝達式・講演会

7月6日、南河内公民館にて、宇都宮保護観察所の西村朋子所長から、市長に「第74回社会を明るくする運動」内閣総理大臣メッセージが伝達されました。

伝達式後は、医師であり薬王寺住職の倉松俊弘氏による講演会が行われ、医療と仏教の観点から捉えたいのちについてお話しいただき、私たち一人ひとりが生き方に向き合い、それぞれができることについて考える機会となりました。

